

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年7月15日
【四半期会計期間】	第18期 第1四半期（自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日）
【会社名】	株式会社ワイズテーブルコーポレーション
【英訳名】	Y's table corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 金山 精三郎
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木四丁目4番8号
【電話番号】	03（5412）0065（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役執行役員 平尾 健治
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木四丁目4番8号
【電話番号】	03（5412）0065（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役執行役員 平尾 健治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第17期 第1四半期連結 累計期間	第18期 第1四半期連結 累計期間	第17期
会計期間	自 平成27年 3月1日 至 平成27年 5月31日	自 平成28年 3月1日 至 平成28年 5月31日	自 平成27年 3月1日 至 平成28年 2月29日
売上高 (千円)	3,619,977	3,872,453	15,011,387
経常利益 (千円)	82,917	188,218	237,292
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	35,000	112,090	114,199
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	25,678	126,758	138,281
純資産額 (千円)	1,096,922	1,344,342	1,213,079
総資産額 (千円)	5,478,978	5,549,623	5,129,617
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	13.15	42.13	42.92
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	19.9	24.1	23.6

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、当第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。
4. 第17期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第17期及び第18期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在しているものの希薄化効果を有していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善ペースの鈍化もあり、停滞感が強まりました。国内の個人消費については、熊本地震の影響等もあり、依然として低迷が続いております。また消費税増税が再延期されるなど、今後の景気動向については不透明な状況です。

外食産業においては、食材価格の高騰、人材確保の競争激化、また、食の安全・安心に対する社会的関心の高まりに加え、消費者の節約志向の影響から、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、既存店のブラッシュアップに加えて、新規出店を推進してまいりました。当第1四半期連結累計期間におきましては、引き続きカジュアルレストラングループが好調に推移したことに加え、XEXグループが回復基調であったことから、売上高は3,872百万円（前年同期比7.0%増加）、営業利益は185百万円（同234.8%増加）、経常利益は188百万円（同127.0%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は112百万円（同220.3%増加）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、平成27年11月に直営店「The Kitchen Salvatore Cuomo SHANGHAI」を閉店したことにより同店舗の売上が剥落した一方で、前連結会計年度より取り組んでまいりました国内既存店舗のブラッシュアップの効果もあり、売上高および営業利益が前年同期に比べ増加いたしました。また、直営店「Curtain Call」を平成28年5月に閉店いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は1,184百万円（前年同期比1.2%増加）、営業利益は102百万円（同327.5%増加）となりました。なお、店舗数は直営店9店舗となりました。

カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについては、既存店の強化に加えて、FC店舗による新規店舗の出店を推進してまいりました。FC店では、平成28年3月に「PIZZA SALVATORE CUOMO 三軒茶屋」を直営店舗化し、また「SALVATORE CUOMO & BAR 松山」、「SALVATORE CUOMO & BAR 小倉」同年4月に「SALVATORE CUOMO & BAR 姫路」を出店いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は2,686百万円（前年同期比9.7%増加）、営業利益は343百万円（同20.5%増加）となりました。なお、店舗数は直営店44店舗、FC店46店舗となりました。

その他

その他は、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等により構成されております。当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は1百万円（前年同期比5.0%減少）、営業利益は0百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態

資産の状態

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は2,445百万円となり、前連結会計年度末に比べ362百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加418百万円、売掛金の減少41百万円、原材料の減少4百万円、繰延税金資産の減少10百万円等によるものです。固定資産合計は3,104百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円増加いたしました。これは主として、建物及び構築物の減少4百万円、建設仮勘定の増加58百万円、のれんの減少10百万円、敷金及び保証金の増加11百万円等によるものです。

この結果、総資産は5,549百万円となり、前連結会計年度末に比べ420百万円増加いたしました。

負債の状態

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は2,694百万円となり、前連結会計年度末に比べ245百万円増加いたしました。これは主として、買掛金の増加113百万円、短期借入金の減少25百万円、未払金の増加114百万円、未払法人税等の増加48百万円、株主優待引当金の減少20百万円等によるものです。固定負債合計は1,511百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加いたしました。これは主として、長期借入金の増加76百万円、資産除去債務の減少28百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,205百万円となり、前連結会計年度末に比べ288百万円増加いたしました。

純資産の状態

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,344百万円となり、前連結会計年度末に比べ131百万円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上112百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は24.1%（前連結会計年度末は23.6%）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,056,000
計	7,056,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成28年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成28年7月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,660,900	2,660,900	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	2,660,900	2,660,900	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成28年3月1日～ 平成28年5月31日	-	2,660,900	-	830,375	-	858,295

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第 1 四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成28年 2 月29日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

(平成28年 5 月31日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式（自己株式等）			
議決権制限株式（その他）			
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 100		
完全議決権株式（その他）	普通株式 2,660,400	26,604	
単元未満株式	普通株式 400		
発行済株式総数	2,660,900		
総株主の議決権		26,604	

【自己株式等】

(平成28年 5 月31日現在)

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ワイズテーブル コーポレーション	東京都港区六本木4-4-8	100	-	100	0.004
計		100	-	100	0.004

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成28年3月1日から平成28年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成28年3月1日から平成28年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	736,474	1,154,712
売掛金	779,064	737,958
原材料及び貯蔵品	234,665	229,990
繰延税金資産	133,623	123,332
その他	199,626	199,852
貸倒引当金	506	507
流動資産合計	2,082,948	2,445,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,847,366	1,842,764
工具、器具及び備品(純額)	232,636	230,614
リース資産(純額)	55,519	50,770
建設仮勘定	15,287	74,019
その他(純額)	1,737	2,788
有形固定資産合計	2,152,546	2,200,958
無形固定資産		
のれん	182,016	171,309
その他	47,093	45,198
無形固定資産合計	229,110	216,508
投資その他の資産		
投資有価証券	273	292
長期貸付金	8,232	8,177
敷金及び保証金	607,249	618,877
繰延税金資産	51,333	61,404
その他	14,719	14,750
貸倒引当金	16,795	16,685
投資その他の資産合計	665,012	686,817
固定資産合計	3,046,669	3,104,283
資産合計	5,129,617	5,549,623
負債の部		
流動負債		
買掛金	722,215	835,302
短期借入金	682,506	657,001
未払金	656,503	770,922
未払法人税等	38,766	87,505
ポイント引当金	23,906	24,955
株主優待引当金	55,728	35,711
その他	269,125	282,838
流動負債合計	2,448,751	2,694,237
固定負債		
長期借入金	798,332	874,512
資産除去債務	480,191	451,578

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
その他	189,262	184,953
固定負債合計	1,467,786	1,511,043
負債合計	3,916,538	4,205,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	898,683	898,683
利益剰余金	359,858	247,768
自己株式	275	275
株主資本合計	1,368,924	1,481,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	8
為替換算調整勘定	159,583	144,926
その他の包括利益累計額合計	159,587	144,918
新株予約権	3,742	8,246
純資産合計	1,213,079	1,344,342
負債純資産合計	5,129,617	5,549,623

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 3 月 1 日 至 平成27年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 3 月 1 日 至 平成28年 5 月31日)
売上高	3,619,977	3,872,453
売上原価	3,012,098	3,106,283
売上総利益	607,879	766,170
販売費及び一般管理費	552,423	580,508
営業利益	55,455	185,662
営業外収益		
受取利息	58	46
協賛金収入	13,477	13,186
為替差益	14,549	-
その他	8,098	6,595
営業外収益合計	36,184	19,828
営業外費用		
支払利息	8,068	6,649
為替差損	-	7,032
その他	653	3,590
営業外費用合計	8,722	17,272
経常利益	82,917	188,218
特別利益		
固定資産売却益	104	-
特別利益合計	104	-
特別損失		
固定資産除却損	746	-
特別損失合計	746	-
税金等調整前四半期純利益	82,276	188,218
法人税、住民税及び事業税	12,040	76,258
法人税等調整額	36,227	130
法人税等合計	48,267	76,128
四半期純利益	34,008	112,090
非支配株主に帰属する四半期純損失 ()	991	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	35,000	112,090

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)
四半期純利益	34,008	112,090
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	12
為替換算調整勘定	8,378	14,656
その他の包括利益合計	8,329	14,668
四半期包括利益	25,678	126,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,484	126,758
非支配株主に係る四半期包括利益	805	-

【注記事項】

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58 - 2項（4）、連結会計基準第44 - 5項（4）及び事業分離等会計基準第57 - 4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（四半期連結貸借対照表関係）

該当事項はありません。

（四半期連結損益計算書関係）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次の通りです。

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日）
減価償却費	83,260千円	78,273千円
のれんの償却額	10,706千円	10,706千円

（株主資本等関係）

前第1四半期連結累計期間（自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日）

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日）

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,170,045	2,448,085	3,618,130	1,847	3,619,977	-	3,619,977
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	20,965	20,965	20,965	-
計	1,170,045	2,448,085	3,618,130	22,812	3,640,943	20,965	3,619,977
セグメント利益 又は損失()	23,955	284,847	308,802	1,033	307,769	252,313	55,455

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額 252,313千円には、セグメント間取引消去額388千円、各セグメントに配分していない全社費用 252,702千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,184,364	2,686,334	3,870,698	1,755	3,872,453	-	3,872,453
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	90,173	90,173	90,173	-
計	1,184,364	2,686,334	3,870,698	91,928	3,962,627	90,173	3,872,453
セグメント利益 又は損失()	102,408	343,306	445,715	680	446,395	260,732	185,662

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額 260,732千円には、セグメント間取引消去額416千円、各セグメントに配分していない全社費用 261,149千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下の通りです。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 3 月 1 日 至 平成27年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 3 月 1 日 至 平成28年 5 月31日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	13円15銭	42円13銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	35,000	112,090
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額 (千円)	35,000	112,090
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,660,858	2,660,788

(注) 前第 1 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第 1 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年 7月15日

株式会社ワイズテーブルコーポレーション

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 千 頭 力 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 渡 辺 力 夫 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ワイズテーブルコーポレーションの平成28年3月1日から平成29年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成28年3月1日から平成28年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成28年3月1日から平成28年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ワイズテーブルコーポレーション及び連結子会社の平成28年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- （注）1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2．X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。